

協 賛 エネルギー・資源学会、化学工学会、環境科学会、環境資源工学会、空気調和・衛生工学会、高分子学会、産業環境管理協会、資源・素材学会、自動車技術会、地盤工学会、静電気学会、全国都市清掃会議、大気環境学会、電子情報通信学会、土木学会、日本エネルギー学会、日本オゾン協会、日本音響学会、日本化学会、日本環境衛生施設工業会、日本環境衛生センター、日本気象学会、日本建築学会、日本産業機械工業会、日本産業廃棄物処理振興センター、日本水道協会、日本セラミックス協会、日本騒音制御工学会、日本太陽エネルギー学会、日本鉄鋼協会、日本土壌肥料学会、日本燃焼学会、日本ヒートアイランド学会、日本分析化学会、日本水環境学会、日本リスノロジー学会、日本冷凍空調学会、医薬物・3R 研究財団、廃棄物資源循環学会、粉体工学会、スマートサウンズデザインソサエティ(予定を含む)

開催日 2019年6月26日(火)～28日(金)

会 場 万国津梁館 (沖縄県名護市宇喜濱 1792 番地)
<http://www.saihyuokan.com/index.jsp>

開催趣旨

本シンポジウムは、日本機械学会環境工学部門を構成する騒音・振動改善技術、資源循環・廃棄物処理技術、大気・水環境保全技術、環境保全型エネルギー技術などの先端技術を駆使することにより、自然環境と調和する安心・安全な生活環境を実現するための情報提供、および、専門家による最先端の研究・技術開発成果の発表と討論を通してサステイナブル社会へのアプローチのきっかけを見出し、ただでなく、目的です。また、併催する環境工学国際ワークショップ(WIE2019)にも参加できますので、国際的な情報交換や研究者・技術者のネットワーク形成の促進を図ることが出来ます。各種表彰制度により、環境工学の発展に寄与する機会ともなっております。開催は、2000年に開催された第26回主要国首脳会議(ウヅ・沖縄サミット)の会場である万国津梁館において行います。世界各国における多様な環境問題についての取り組み、研究開発についての情報発信や情報交換をおこなうだけでなく、沖縄の風光明媚な自然や伝統文化に囲まれた中、サステイナブル社会の達成ならびに環境工学の未来について考える絶好の機会となることと見込。皆様のご参加をお待ちしております。

「事例発表」も歓迎いたしますが、商品宣伝にならないようご注意ください。以下に事例発表の例を示します。
a. 速報 (十分な考察ができておらず結論がでていないが、速報することによって研究や技術の発展に寄与するもの)
b. 技術紹介 (技術改善や機業改善の工夫や改良を報告することで、実用的機械工学の発展に寄与するもの)
c. 資料 (学問的・技術的に価値があり発表により、会員や機械工学の発展に寄与するもの)
なお、詳細については、環境工学総合シンポジウム(2019SEB)ウェブサイトを ご参照願います。
<http://www.jsme.or.jp/env/see/2019/>

募集内容 下記のとおり講演発表を募集します。日本語(あるいは英語)の講演発表を募集します。奮ってご参加下さい。

一般講演

1. 騒音・振動評価・改善技術分野
Noise and vibration control technology
- 1.1 騒音・振動の測定・解析技術
Test and analysis technique of noise and vibration
- 1.2 騒音・振動の改善技術
Improvement technology of noise and vibration

1. 3 音色・音質の評価と改善
Evaluation and improvement of sound quality
- 1.4 低周波音・超低周波音の評価・改善技術
Evaluation and improvement technology of low frequency sound

<オーガナイザー>

森下達哉 (東大), 朝倉 巧 (東京理科大学), 青木俊之 (九大), 有光哲彦 (中央大), 飯田明由 (豊橋技術大), 飯田雅直 (鉄道総研), 江波河明彦 (東芝), 川島 兼 (伊奈川工科大学), 堀本信哉 (九大), 北村敏也 (山梨大), 栗田 健 (JRC東日本), 高野 靖 (京大), 田部幸祐 (日立), 戸井武司 (中央大), 土肥哲也 (水産研究), 渡川 洋次 (大分大), 林 秀千人 (長崎大), 日置輝夫 (千代田化工), 丸田芳幸 (中央大), 御法川 学 (法政大), 宗像 瑞樹 (熊本大), 森村浩明 (東工大), 山種伊知郎 (神戸製鋼), 山崎 徹 (伊奈川大), 山田彰二 (三菱電機), 渡部真希 (日立)

2. 資源循環・廃棄物処理技術分野

2. 1 循環型廃棄物処理技術
Recycling and waste treatment technology
2. 2 再資源化・リサイクル
Recycling waste treatment technology
2. 3 焼却・溶融技術
Resource recovery and recycling
2. 4 安定化・無害化処理技術
Incineration and melting technology
2. 5 廃棄物発電・バイオマス発電 熱利用技術
Treatment technology of stabilization and detoxification
2. 6 環境マネジメント・手法
Waste power generation and biomass power generation, Heat utilization technology
Environmental management and method

[OS1] IoT・AI 技術の廃棄物処理分野への国際的展開と課題

Global Prospects and Issues of IoT and AI Technologies in the field of Waste Management

[OS2] 持続可能な技術・システムに関する取組と今後の展開
Current Efforts and Future Challenges of Sustainable Technologies and Systems

[OS3] バイオマス資源の活用と今後の展望
Utilization of Biomass Resources and its Future Prospects

[OS4] 固形バイオエネルギーの技術展開と標準化 (1)
Technology Development and Standardization of Solid Biomass Energy Part I

[OS5] 固形バイオエネルギーの技術展開と標準化 (2)
Technology Development and Standardization of Solid Biomass Energy Part II

[OS6] 廃棄物処理・バイオマス利用に関する技術全般 (2019SEB)
Technology for Waste Management and Biomass Utilization

※注記 [OS1]～[OS6] は環境工学国際ワークショップ(WIE2019)のため講演発表は「英語」のみとなります。
[OS6] は環境工学総合シンポジウム(2019SEB)のオーガナイザーセッションにつき、講演発表は「日本語」または「英語」となります。

<オーガナイザー>

太田智久 (ウヅ), 胡 浩 (早大), 井田民男 (近畿大), 伊藤一芳 (住友重機械工業), 小倉 舞 (日立造船), 小野健広 (新日鐵住金エンジニアリング), 小野田弘士 (早大), 片山智之 (エム・オー・エ), 上林史朗 (クボタ), 川本亮也 (岡山大), 小林 潤 (工学院大), 佐藤吉信 (月島環境エンジニアリング), 鈴木康夫 (TBE エンジニアリング), 秋又薫雅 (神鋼環境ソリューション), 傳田知広 (JFE エンジニアリング), 富田康弘 (三井E&Sエ

ソニアリンクル)、豊武秀文(月島環境エンジニアリンクル)、藤木隆史(新明和工業)、松山智哉(三機工業)、森田拓之(川崎重工)、山本秀利(住友環境ソリューション)、行本正雄(中研大)、吉川制夫(東工大)

3. 大気・水環境保全技術

Technology for the conservation of air and water

3. 1 大気環境保全・改善技術

Technology for the conservation of air environment

3. 2 水環境保全・改善技術

Technology for the conservation of water environment

3. 3 大気・水環境評価技術

Evaluation technology of air and water environment

3. 4 大気・水環境数値シミュレーション

Numerical simulation of air and water environment

<オーガナイザー>

柳原信志(岐阜大)、江原由泰(都市大)、石野洋二郎(名工大)、上原悠司(東北大)、浦島莉子(文部省科学技術・学術政策研究所)、遠藤 久(月島機械)、大久保雅章(阪府大)、河原耕太郎(産総研)、北川一栄(下木道事業団)、小林昌介(岐阜大)、佐藤岳彦(東北大)、木下進一(阪府大)、長岡 裕(都市大)、宮原清志(静岡大)、山口尚夫(クボタ環境ソリューション)、篠家 亮(名大)、吉田真正(阪府大)、吉田憲一郎(東工大)

4. 環境保全型エネルギー技術分野

Environment friendly energy technology

4. 1 省エネルギー

Energy conservation

4. 2 新エネルギー

Renewable energy

4. 3 エネルギー有効利用

Effective utilization of energy

4. 4 蓄熱・電力貯蔵技術

Energy storage

4. 5 エネルギー技術分野における環境関連技術

Technologies related to environment in the energy sector

4. 6 環境数値シミュレーション

Numerical simulation for environment

<オーガナイザー>

田中勝之(日大)、坂東 茂(慶中研)、秋澤 洋(農工大)、伊藤 辰(東京都都市大)、内山聖士(三機工業)、小原伸哉(北工大)、亀谷茂樹(東京海洋大)、柳川洋平(産総研)、若島真仁(愛浦工大)、小嶋清夫(東京海洋大)、近藤 明(阪大)、齋藤 謙(早大)、佐々木正信(東京電力E.P)、佐藤春樹(慶大)、関口圭輔(NITエナジーイーズ)、鄭 宗秀(早大)、党 超英(東大)、豊島正樹(三菱電機)、西村伸也(阪府大)、松田雅晃(冷熱空調工業会)、宮崎進彦(日大)、山口誠一(早大)、ロジオノフ ミハイル(東芝)、浦井徹也(阪府大)

基盤講演

Tsutomu Shirakake (Okhawa Institute of Science and Technology Graduate University (OIST), Japan) (Open Forum)

Yong-chan Kim (Korea University, Korea)

Ali bin Selamat (Malaysia-Japan International Institute of Technology (MIIT), Malaysia)

Jiaman Yang (Hitachi Europe Ltd., Great Britain)

Liang Yu (Shanghai Jiao Tong University, China)

Jintawat Craichanamong (Thai-Nichi Institute of Technology, Thailand)

招待講演(予定)

Jiaman Yang (Hitachi Europe Ltd., Great Britain)

Liang Yu (Shanghai Jiao Tong University, China)

Jintawat Craichanamong (Thai-Nichi Institute of Technology, Thailand)

Keo Been Chang (National Central University, Taiwan)

Chaohin Dang (The University of Tokyo, Japan)

James S. Corton (McMaster University, Canada)

Niro A. Desaiher (Federal University of Santa Catarina, Brazil)

Dinicola (Marche Polytechnic University, Italy)

Heekt (Technical University Berlin, Germany)

Yukihito Higashi (Kyushu University, Japan)

Jongsoo JONG (Nagasaki University, Japan)

Myoung Lee (Korea Maritime & Ocean University, Korea)

Jie Li (Dalian University of Technology, China)

Bidyut Baran Saha (Kyushu University, Japan)

Keiping Yan (Hangzhou University, China)

表 彰

○「研究奨励表彰」：口頭発表において優秀な講演を行った2019年4月1日時点で35歳以下の正員

および学生員に授与します。

○「日本機械学会若手優秀講演フェロー賞」：口頭発表において発表内容が日本機械学会学術誌(日本機械学会論文集 Mechanical Engineering Journal)に論文として投稿するレベルであり、優秀な講演を行った2019年4月1日時点で25歳未満の会員に授与します。

講演発表資格

日本機械学会会員に限りません。

会員資格を有しない方については、先ず入会手続きのうえ、入会仮登録番号を入手下さい。

同時開催の環境工学国際ワークショップ(IMEE2019)では非会員でも発表出来ます。詳細は、

IMEE2019 ホームページを参照下さい。(https://www.isme.or.jp/en/nee2019)

日本機械学会「入会のご案内」ホームページ

(http://www.isme.or.jp/japanese/contents/03/01.html)

発表申込期限

2019年2月1日(金)

会員番号が必要となります。

この段階で入会手続きをしていない場合(入会仮登録番号で可)は、発表をお断りしますのでご注意ください。

講演原稿提出締切日

2018年4月15日(月)

入会を完了し、会員番号を入手下さい。

会費支払いまでの確認ができない場合(入会仮登録番号は不可)は、原稿は受理できませんのでご注意ください。

講演原稿枚数

A4判用紙2~4ページ(印刷オプション投稿)

講演発表時間

口頭発表 発表時間10分、質疑応答5分(合計15分)

ポスター発表 ショートプレゼンテーションおよびポスター発表

発表申込方法

環境工学総合ワークショップホームページ(https://www.isme.or.jp/env/see/2019/)をご覧ください。お申し込み下さい。口頭発表とポスター発表のなお、講演の採択は実行委員会にご一任願います。も採択の場合、3月1日(金)までにご通知いたします。

<注意事項>

* 発表者は全員、早期事前登録をお願いします。早期事前登録がなされない場合は、発表を取り消しますのでご注意ください。

* 発表は原則として、ご自身のパソコンで行いますのでご持参下さい。パソコンが必要な場合は、購買課が用意したUSBメモリーをご持参願います。参加登録の際に、要パソコンの項目にチェックを入れて下さい。

参加登録

	早期事前登録費 2018年12月3日 ～2019年4月15日まで	事前登録費 2019年4月16日 ～6月15日まで	当日登録費
一般会員	40,000円	50,000円	60,000円
学生会員	20,000円	25,000円	30,000円
一般非会員	50,000円	62,000円	75,000円
学生非会員	25,000円	31,000円	38,000円
同伴者	15,000円	18,000円	23,000円

<注意事項>

- * 早期事前登録費ならびに事前登録料は、期日までに支払いを終わらせて下さい。なお、登録費のご返金は出来ませんのでご了承願います。
- * 登録された方は、見学会参加（弁当）、パンクット参加、エクスカーション参加、シャトルバス利用ができますが、人数把握のため登録時に参加希望項目を選択して下さい。
- * 協賛学会員は、会員価格で参加いただけます。
- * 同伴者の方々の登録につきましても、登録者の個人ページより登録いただけます。
- * 同伴者で登録された方も、見学会、パンクット、エクスカーションへの参加、シャトルバス利用ができます。小学生以下のお子様につきましては、無料で見学会、パンクット、エクスカーションへの参加、シャトルバス利用ができます。登録の際、同伴者およびお子様のお名前をご記入願います。中学生および高校生のお子様につきましては、お一人5,000円の追加料金で参加できます。昼食につきましては別途弁当を販売しますので登録時に併せてお申し込み下さい。

実行委員会

佐藤 岳彦 (委員長) (東北大学)
 高野 靖 (副委員長) (京都大学)
 上原 聡司 (幹事) (東北大学)
 山星 将朗 (秋田大学)
 渡部 真徳 (日立製作所)
 渡川 洋亮 (大分大学)
 小倉 舞 (日立造船)
 片山 智之 (エムイーアイ)
 浦島 邦子 (科学技術・学術政策研究所)
 関口 圭輔 (NTTフレッヂサービス)
 涌井 徹也 (大阪府立大学)

移動手段 (ご参考)

- 無料のバス送迎をご用意しておりますのでご利用下さい。
- (1) 那覇空港→名護市街地
 6月25日(火)夕方、那覇空港から名護市街地への移動用のバスを準備しております。また、見学会参加者は、6月25日(火)お昼に那覇空港から出発し、見学会・ラエルカムレセプション終了後に名護市街地に到着いたします。いずれのバスも、学会指定ホテルに停車します。
- (2) 名護市街地会場
 6月26日(水)は朝と夕方、6月27日(木)は朝とパンクット終了後、6月28日(金)

出版

シンポジウム参加者には、購買課文庫が配布されます。

は朝と学会終了後に、送迎バスを準備いたします。また、学会指定ホテルと名護市街地(未定)に停車します。

(3) 会場→那覇空港
 6月28日(金)学会終了後に、会場から那覇空港へ移動用のバスを準備しております。

(4) 会場→名護市街地
 エクスカーション用のバスをご利用下さい。

(5) その他の交通手段
 ・那覇空港から名護市まで、公共高速道路バスで約1時間45分かかります。
 ・名護市内から会場へは、路線バスが1時間に1-2本あります。バス停から会場までは徒歩で約10分かかります。タクシーをご利用の場合は、会場から名護市街地まで約20分かかります。
 ・レンタカーでお越しの場合は、会場駐車場に駐車願います。

宿泊施設 (ご参考)

ITBEのウェブから下記ホテルの予約ができますのでご利用願います。

- [名護市内] 1. ホテルゆがよいん沖縄：10,000円より
 2. ホテルリートイン名護：7,000円より
 [会場近辺] 3. 沖縄サンコーストホテル(会場から車で5分)：14,000円より
 4. ザ・オセナテラス(万国津梁短距離)：36,000円より
 数人で宿泊する場合はこの金額より安くなりますので、予約時に確認をして下さい。

<注意事項>

- * 他にも名護市内、会場近隣のホテルはありますが、バス送迎(無料)は、上記1.～3.のホテルになります。
- (1) 見学会
 6月25日(火) 午後に那覇空港出発し、持参可能な発表資料がされた世界的講師を受けているOIST(沖縄科学技術大学院大学)とオリオンビール工場を見学します。
 オリオンビール工場では、オリオンビールを飲みながらのラエルカムレセプションを開催するとともに、参加登録も行います。
 OIST: <https://www.oist.jp/>, Orion beer factory: <https://www.orionbeer.co.jp/en/>
- (2) パンクット
 6月27日(木)に会場にて開催いたします。
 格闘高いサミットホールと中庭から望む景色や夕日、沖縄の伝統芸能も楽しんで頂く予定です。
- (3) エクスカーション
 6月28日(金)学会終了後に開催いたします。
 会場から各ホテルに到着後、名護の大家(古民家レストラン)にて昼食、美ら海水族館とパンクットツアーを行います。

<注意事項>

- * いずれのイベントにおいても、参加登録時に、参加希望のイベントの項目にチェックを入れ、参加申込みをして下さい。
- * パンクットツアーには、参加人数(100名)限定となりますので、申込み受付順とさせていただきます。
- * 参加申込みをしない場合は、参加できないこともありますので予めご了承下さい。

講演論文原稿の電子ファイルを、6月25日(水)以降に、シンポジウムのウェブサイトよりダウンロードいただけます。

その他 会場では用紙もご利用いただけます。会場の外には喫煙エリアもごさいいます。

問合せ・連絡先

不明な点などありましたら下記までご連絡願います。

INEE2019/2019SISE 事務局： env-symp2019_admin@jsme.or.jp

〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 番地 信濃町棟5階

日本機械学会 環境工学部門 [担当 遠藤貴子]

電話 (03) 5350-3506, FAX (03) 5350-3509, E-mail: endo@jsme.or.jp